

## 第 32 回 空気シンポジウム開催報告

今年度の空気シンポジウムは対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、対面にて 74 名、オンラインで 103 名の方にご参加頂いた。開会挨拶・趣旨説明の後、(1) 換気効率指標の展開として、伊藤一秀先生 (九州大学)、山中俊夫先生 (大阪大学)、倉渕隆 (東京理科大学)、竹内仁哉 (秋田県立大学) にご講演頂いた。続いて (2) シミュレーション技術の進化として、大岡龍三先生 (東京大学)、桃瀬一成先生 (アドバンスドナレッジ研究所) からご講演頂いた。最後に (3) PIV・濃度計測技術の展開として、赤林伸一先生 (新潟大学)、有波裕貴先生 (新潟大学)、嶋崎典子先生 (国立感染症研究所) よりご講演頂いた。講演後、小林知広先生 (大阪大学) による進行でパネルディスカッションを実施し、紹介頂いた新技術の今後の社会実装や実務応用などの将来展開と課題などについてパネリストよりご意見を頂いた。その他、各講演に対する質疑応答が活発に行われた。

シンポジウム終了後には、コロナ禍初めての対面での懇親会を開催し、活発な研究交流を行った。



シンポジウム会場の様子  
(大阪大学 中之島センター)



懇親会の様子  
(フェスティバル&ビアホール)